

今年の初午は2月1日です

担当・桐生大学医療保健学部栄養学科助教 井桁千恵子

毎年2月の最初の午(うま)の日を初午と呼び、その日には各地の稲荷明神で祭事が執り行われます。今年の暦では2月1日が初午の日ですが、旧暦(今年は3月21日)で行う地域もあるようです。

初午祭事の由来は、稲荷社の本社である京都府の伏見稲荷大社とされます。和同4(711)年、稲荷大神が稲荷山の三ヶ峰(さんがみね)に初めて鎮座されたことが、神

社には感謝の意として餌になる小動物が供えられていました。しかし殺生を禁じる仏教の影響で、大豆を原料にした油揚げをお供えするようになり、狐の好物であると考えた油揚げに飯を詰めたすしが、「稲荷(いなり)ずし」と言われるようになったようです。

初午は春の神様であるオシラサマを祭る日でもあり、豊蚕(豊作)を願って繭の形に作った団子をお供えする習慣が伝えられています。また、栃木県を代表する郷土料理の「しもつかれ」は、かつては初午のときだけのお供物として作られていたようです。

【プロフィール】井桁千恵子さんは太田市出身。桐丘短期大学を卒業後、同短期大学生活科学科に復職、25年から桐生大学に所属。管理栄養士。修士課程修了(心身健康科学)。



食と栄養の

桐生大学栄養学科

情報定期便

No.078

今回は「おいなりさん」の呼び名で親しまれる「いなりずし」に着目してみました。いなりずしは江戸時代後期に誕生したファーストフードで、屋台や専門店などで大層繁盛していたようです。いなりずしの形は全国それぞれに特徴があり、関東地方で多く見られる長方形型は細長いのでした。この形は、妻油揚げを半分に切り、四角の一边を切り落とす。関西地方の「三角型」は、真四角の油揚げを対角線上で切った三角形を作ります。それぞれしうゆと砂糖

保健・福祉

胃腸炎や風邪に注意を

日本海側は大雪となり、関東の平野部では乾燥した寒い日が続きます。

桐生・みどり地域ではインフルエンザ、新型コロナウイルスともだにふ落ち着いており、患者数の増加はありません。ただ、RSウイルス感染症をはじめ急性呼吸器感染症(ARI)の罹患(りかん)者は

はやってる病気は?

多く、せきや喉の痛みなどの症状を持つ人はかなりいます。感染性胃腸炎の患者も多く、嘔吐(おうと)などの症状があるようです。

手洗い、うがい、必要ならばマスクの着用など、感染防止に留意してください。睡眠と食事を十分にとって、体調を管理しましょう。

(26日、桐生市医師会)

群馬県の感染症サーベイランス(1月12~18日)

疾病名	3週間前報告数	2週間前報告数	1週間前報告数	今週の報告数
インフルエンザ	878	230	380	372
新型コロナウイルス感染症	47	40	74	82
RSウイルス感染症	17	14	11	23
咽頭結膜熱	14	7	13	7
A群溶連菌咽頭炎	57	13	38	48
感染性胃腸炎	282	69	306	349
水痘	7	4	12	10
手足口病	0	0	0	0
伝染性紅斑	4	0	4	3
突発性発疹	13	2	9	10
ヘルパンギーナ	1	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	1	1	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0
流行性角結膜炎	9	4	3	4
細菌性髄膜炎	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	16	12	12	14
クラミジア肺炎	0	0	0	0
急性呼吸器感染症(ARI)	4736	1277	3140	3016
風疹	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0
百日咳	9	0	5	2

※急性呼吸器感染症は風邪のこと

お供えに「おいなりさん」を

しいお土産でした。

今回は、農林水産省ホームページ「うちの郷土料理」に掲載されている「聖天ずし」を参照しています。色濃く甘い煮つけにするには、使用するしうゆ(濃い口やたまり)や砂糖黒糖やきび砂糖、水あめ)の他にも工夫がありそう、私の思い出の見た目と味にはまだまだ遠かったようです。

※今回は「キウイフルーツの食材・栄養」です。